北東中だより

夏休み号 ＮＯ．４

文責　仙洞田茂雄

あの日の歓声　風鈴の音　心響く季節が終わる

さあー夏休み！

この夏のHEROは君だ

勝負の夏　成功への近道はない

連日記録的な猛暑の中、６９日の１学期が終わります。楽しみにしていた、でもいよいよ、この休みこそは…、それぞれの思いのつまった３５日間の夏休みが始まります。

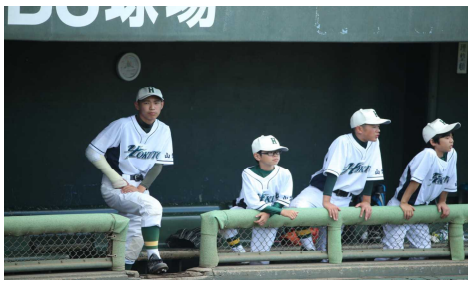
この１学期、新しい仲間、新たなクラスでの出発はどうでしたか。人にとって大切なことは、様々な人との出会いの中で、それぞれの個性や考え方の違いを互いに理解すること、時にはぶつかることもありながらも、認め合うことです。いろんな仲間と共通した夢を持ち、一心不乱に目標に向かい、あらたな絆も生まれたのではないでしょうか。そして、人の為につくし、感謝されたり、また、悩んでいる時に励まされたり勇気づけられたりすることで、人との繋がりが芽生え、心の成長が図られた場面も数多くあったことと思います。詩人で書家の相田みつをさんの書物の中に、「自分の後ろ姿は自分じゃみえねんだな」「くさびだから１番大事なところへうつ　くさびだからみえないようにうつ」と自分自身を見つめる言葉を思い出しました。

目標をしっかり持ち、成し遂げること。一段と飛躍する「2016 最高の夏」になるよう期待しています。

成功への近道はありません！職員一同応援しています

···· 駆け抜けた69日間　1学期を振り返る ·····

入学式後の学級指導



戦況を見守るベンチ

猛暑の中給水　顧問の激励

熱戦を繰り広げる総体

「繋」テーマにした生徒総会

見事団体優勝！柔道部

各クラスの意見を発表

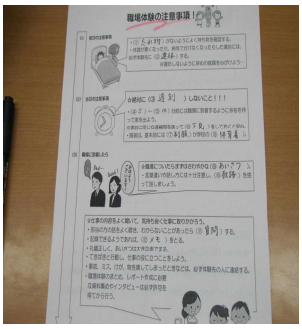
整然とした中での集会

全校が心を一つに　壮行会

３年生の春　中学校生活最高の思い出「舞台は古都に」

　春を迎え進級し、一段とたくましくなった３年生は、修学旅行を通し、学校の顔として成長していると感じました。生徒総会、最後の総合体育大会と、それぞれのその姿は、生徒の心の中に、沢山の思い出として焼き付きました。今後は受験勉強に専念しながら、新たな目標に向かい、壁を共に乗り越え、更なる成長の姿を２学期大いに見せてほしいと期待しています。

２年生総合学習　職場体験学習を前に「未来予想図」



　２年生は、夏に行われる職場体験学習に向け、各クラスで総合的な学習の時間を利用して、学習を進めてきました。そして、今、それぞれが「将来」について考えはじめています。「保育園・図書館・本屋・動物病院・自衛隊他」それぞれの職場で体験し感じたことが、自分の将来に大きく影響するかもしれません。学校では学べない生きた学習を自分のものにし、自分を振り返り、考える夏にして下さい。後輩の１年生が入り、上級生としての自覚と成長が見られた１学期でした。

１年生　　宿泊体験学習から得たもの　「STEP　UP」

　宿泊学習では団長に戸澤教頭が同行しました。その感想を載せさせて頂きます。
◇４月入学してきた１年生が、中学生になって３ヶ月になろうとする、６月２２日・２３日の２日間、宿泊学習を実施しました。時間のない中、実行委員を中心に計画を立て、この日を迎えたことと思います。初日は、班別行動。甲府市内を回る班、遠くは電車を使って塩山へ、またはバスを使って昇仙峡へ思い思いの計画で回ってきました。時間までに、宿泊地の愛宕山少年自然の家に到着するか心配でしたが、全部の班が到着できました。すばらしいことだと思います。途中いろいろあったかと思いますが、みんなで協力し成し遂げられたことは、今後の青学年の力になったことと思います。他の活動もリーダーが意識を持って取り組み、集団として大きく成長したのではないでしょうか。「STEP　UP」宿泊学習のテーマを全員の力で十分達成しました。今後の青学年に大いに期待が持てる２日間でした。◇

我ら北東生！全校生徒292名この夏の挑戦はつづく

　３５日間の夏休みが始まる。これまで経験して身に付けたことを夏休みに生かし、１日１日を大切に過ごしてほしいと思います。部活動に、学習に、高校体験学習、地区の行事等、３年生の中には、アメリカデモイン友好都市研修、広島訪問など、多くの挑戦が続きます。健康に気をつけ、２９２名全員が、思い出に残る夏休みを過ごして下さい。

♪音楽って素晴らしい♪　　吹奏楽部　「尚古園訪問」

６月１９日、吹奏楽部が尚古園（特別養護老人ホーム）を訪問し、演奏を披露しました。心に響く演奏活動の様子が目に浮かびます。素晴らしいひとときをありがとう。

◆尚古園は、私たちが初めて行く場所でしたので、どんな反応をいただけるか不安でした。しかし、部屋に入りきれないくらいたくさんの方が集まってくださって、本当に嬉しかったです。揺れたり、手を叩いたり、曲が伝わるように、動きも意識して吹くことができました。「３６５歩のマーチ」や「川の流れのように」「ふるさと」など、泣きながら歌ってくださる方々がたくさんいらっしゃって、思わず嬉しくて、私も泣いてしまいそうになりました。「♪幸せは歩いてこない　だから歩いていくんだね♪」私たちが演奏することで、尚古園の方々に何かを残し、幸せな時間をつくることができたなら、心から行って演奏できて良かったなと思います。喜んでくださった姿が見れて、本当に嬉しくて楽しい時間でした。もしかしたら、私たち３年生は今回で最後になってしまうかもしれませんが、また、機会があれば、ぜひ行きたいと思います。◆（３年　米山佳織）

★本年度山梨県吹奏楽コンクールは７月３１日（日）１０：２０よりコラニー文化ホールで行われます。

「ネット社会に潜む危険性」

７月６日、１学年が夏休みを前に、山梨県警察本部少年・女性安全課　少年対策官　岡林健児氏をお呼びして、ＳＮＳトラブル防止学習会を開きました。みんな真剣で、聴く態度も大変良く、講師からもお褒めの言葉を頂きました。生徒の感想です。

◆ネットはとても恐ろしいものなんだなと実感した。写真から位置情報が出て、住所が分かってしまったり、個人情報を一人に教えただけで大勢の人に知れわたってしまったり、情報共有が安易にできすぎてびっくりした。また、ＬＩＮＥでのいじめもすごく残酷だなと思った。送った内容をかんちがいされたりします。私も間違ったとらえ方をしないように気をつけたい。（１組田中優衣）◆情報は１度流すと、大変なことになってしまうということがわかった。写真をネット上に載せてしまうと、個人情報の住所、通っている学校などが全てわかってしまうということを知った。インターネットは、とても便利だけど、本当はとても怖くて危ないものだと思った。これからはインターネットを使うときは、充分注意して、それが本当に正しいのかを考えて使っていきたいと思います。（２組佐藤星舞）◆

◆ここまで多くの人がネットを使っているとは思いませんでした。そして被害にあう人がとても多く、そういうことに巻き込まれないようにするのが大切だと思います。その為には、顔も知らない人と交流しないように心がけたいです。まだ、僕はスマートフォンを持っておらず、ＳＮＳを使用していませんが、使用するようになったら、今日学んだことを充分にいかし、被害にあわないようにしたいです。（３組角田光）◆

「夏休み」に入るとつい時間の使い方が悪くなってしまいがちです。終わってみれば「あの時～しておけば良かった」とかよく聞くことですね。

「夏」はゲームや携帯・スマホなどのメディアから離れ、読書や趣味、何かを研究したり、図書館や美術館、博物館等といった普段できないことにチャレンジし、見識を深め、自己管理能力を高め、安全で事故のないように注意しましょう。

豊かな感性を

保護者の皆さまへ

「メディア依存という課題」

長時間のゲームやテレビを
見ていると脳の前頭葉に影響が出る
といわれています。前頭葉の働きは、
記憶力、集中力、判断力、
コミュニケーション力などで、

前頭葉の変容は外から見えません。
見えないから普段の生活の様子や
親子のコミュニケーションが大事なのです。

この夏はメディアから離れ、豊かな感性を！

生命の神秘

「海中２万７０００時間の旅」から　仙洞田茂雄

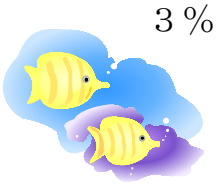
「海」に魅せられた水中写真家、中村征夫氏は語る。「地球の７割が海洋である地球は『水の惑星』と呼ばれている。地球は今から４６億年前、微惑星同士のぶつかり合いによってできあがった。原始の地球は灼熱の星であったが、地表温度が下がると水蒸気として大気中に散っていた水は雨となって降り注ぎ、やがて「海」が誕生した。その地球に最初に生命が誕生したのは「海」だった。私たち人間の歴史はまだまだ浅いが、海中のひと粒の酸素がさまざまな生命を育むきっかけとなった事実を考えると、宇宙の奇跡とも言われるこの『母なる海』を大切にという想いをもって接していかなければならない」と。

中村氏は２０歳から独学で水中写真に取り組み、世界７６ヶ国の海を舞台に、美しい海中の風景や海の生き物が見せる一瞬のドラマを、ひたむきに４０年以上撮り続けている。その根底にあるのは、絶えず「命」を真摯に見つめるまなざしだ。著書『海中２万７０００時間の旅』(DVD付き) を見て私は圧倒された。世界の海の中で展開されている様々なドラマ。それは「未知なる宇宙」ともいえるようなものだった。しばし中村氏と一緒に潜っているような気持ちで生命の神秘さをあらためて考えさせられた。

「海の中では無心になれます。音も遮断された異空間で全く違う生き物たちがうごめき、野生の姿をしている。それは人間がどうあがいても太刀打ちできない世界で、彼らの前では、常に謙虚にならざるをえない。同時にあらゆる命に対して、思いやりや慈しみの気持ちが芽生えてくる。明日のことを考えて生きているものはいない。自分のテリトリーを守り、家族を守り、えさを食べ、夜になると眠る。同じ営みが何億年、何十億年も続けられている。その日暮らしではあっても、１日１日を真剣に生きている輝きを感じます。人間の生活もまた、日々同じことの繰り返しかもしれない。

しかし、それを懸命に積み重ねることの大切さを私は海から学んだ。」

夏、東京、和光小学校６年生を対象に、沖縄のサンゴ礁の話を中心に中村氏の特別授業が行われた。子どもたちの感想の一部には「海はかたまりだと思う。サンゴは思っていたよりも大切な生き物だとわかりました。人間はぜいたくをしないで、きれいな海になってほしい。」「海にはたくさんの命があり、その命をまた別の命が支えているということ。けれど人間はとりたいものだけとって生態系をこわしているなんて！人間は自分勝手だと思う。」「自然にはいらないものはなく、全てのことが必要なこと。無駄になる生命はないということがわかった。」未知なる世界に引き込まれ、様々な課題に子どもたちが気づく様子が見える。「生命進化の舞台であった海」私たち人間の体液の組成が海水とほぼ等しく、体内に海をもっているとも言われている。体の６０％、さらに血液の８３％は水。それは全身を駆け巡り酸素や栄養を運んでくれる。



「生命の神秘さ」に向き合い、考えてみることで、命の中に眠っている子どもたちのみずみずしい、まっすぐな感性の芽が引き出される。「母なる海」海中２万７０００時間を旅してきた中村氏の熱いメッセージが、今夏の海から聞こえてくる。

１学期様々な面で、保護者の皆様、地域の皆様に大変ご協力頂きましたことにお礼を申し上げます。夏休みとなり、生徒も地域や家庭で過ごす時間が増えますので、あたたかく見守って頂ければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

今後の予定

８月	２５日	始業式　避難訓練
	２６日	１・２年到達度テスト
９月	１日	木曜授業
	３日	北口清掃
	１０日	金曜授業
	１６日～１７日	二葉祭　文化　体育部門
	２０日	学園祭のための繰り替え休日

３年生歓迎の合唱　４月